

安全上のご注意 ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 危険	
⚠	<p>高圧線への接近による放電や感電、さらに落雷による感電は、最悪の場合重大事故（感電死）を招く恐れがあります。尚、水に濡れたグラスロッドも同様の危険がありますのでご注意ください。</p> <p>気象条件により、空気に電気を帯びている場合があります。ピリヒリと電気を感ずるはその為です。天候の変化等により危険を伴いますので、そうした場所での釣りはお避けください。落雷・感電による感電死を招く恐れがあります。</p>
⚠	<p>電線との接触による感電 高圧線・線路・鉄橋等の電線による感電に注意してください。釣竿は素材特性上、電気をよく伝えます。特に電線等に接触、または、釣竿を近づけただけでも感電して死亡事故の原因となります。釣り場を移動する時は竿をたたき、高圧線・線路・鉄橋等の電線の下または近くでは絶対に使用しないでください。</p> <p>落雷による感電 落雷による感電に注意してください。使用中、雷が発生した時は、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。また、雷の発生がなくなると、釣竿から電気を感ずるようなときも同様に、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。</p> <p>釣り場以外の電線による感電 釣り以外で釣竿を使用し、電線に触れる事故が発生しています。釣竿を使用する時は、周囲の安全に十分注意してください。</p>
⚠ 警告	
⚠	<p>キャスト（投げる）時の注意 キャスティング（投げる）時は、周囲に人がいないか、十分に安全を確認してください。釣針が人にささったり、ルアーフック、オモリ等が人に当たると非常に危険です。</p>
⚠ 注意	
⚠	<p>固着のゆるめ方 釣竿の固着（継ぎ部が食い込んで外れない時）は、継目の両側近くに、すべり止めを当てて握り、互いに逆方向へヒネリながら押し（振出す場合）、継目をゆるめてください。その際、一気に力を入れると釣竿の継目に手をはさま、けがをすることがあります。</p> <p>●竿の構造上、固着を完全に防止することはできません。固着をゆるめる時等、強く竿を握ると竿が潰れて破損し、手等に怪我をすることがありますのでご注意ください。</p> <p>●固着をゆるめる時等、ガイド部分を握って節の抜き差しはしないでください。ガイドの変形や糸止部の破損の原因になり、手等に怪我をすることがありますのでお避けください。</p> <p>根掛かりの外し方 根掛かり（水中、陸上での障害物に仕掛けが絡みはすれない状態）した時は、無理に竿をあおらないでください。竿が折れたり、外れた仕掛けが飛んで、けがをすることがあります。根掛かりは、出来るだけ、糸を手にとって引っ張って糸を切ってください。その際、糸で手を切ることがありますので、手袋やタオルで手を保護してください。</p> <p>破損時の取り扱い方 使用中、万一釣竿が破損（折れ、割れ、欠け、剥離）した場合、破損した箇所を手などでかすをお避けください。</p> <p>子供の手の届く所に置かないでください 誤使用による事故や怪我に繋がる恐れがあります。</p> <p>釣竿を釣り以外の目的に使用しないでください 事故や怪我につながる恐れがあります。</p> <p>竿の一部や穂先等を無理に曲げると折れることがあります 折れた竿の一部が反動で顔や体に当たり、怪我をすることがありますのでご注意ください。</p> <p>安全に釣りを頂くために 万一、竿が破損してしまった場合、破損した竿の一部が反動で顔や体に当たり、怪我をすることがあります。釣りをされる際は、安全のためサングラス（偏光グラス）、帽子の着用をお勧めします。</p>

※本製品の本体には法律に基づき、竿による感電に注意して頂くよう注意喚起シボルシールが貼ってあります。簡単にはがれないように、シールの上にコーティングしてありますので、はがさないようお願いいたします。尚、印刷されている機種もあります。

株式会社 シマノ
〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

お問い合わせ
0120-861130（ハローイサオ）
【受付時間】AM9:00～12:00 PM1:00～5:00（土、日、祝日は除く）

http://www.shimano.com

新製品情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。

■アフターサービスに関する情報やパーツ互換性の検索、メンテナンス動画などご視聴いただけるHPアドレス：
<https://www.shimanofishingservice.jp/>



天舞

並継へら竿/取扱説明書

SHIMANO

このたびは、シマノ並継へら竿「天舞」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

釣り人にとって、竿は大切な体の一部。

この説明書をお読みの上、

永らく、ご愛用いただけますよう、お願い申し上げます。

天舞の修理に関するお願い

天舞の「合わせ部」（コミ部）は、1本1本現品を合わせて精巧に作られています。修理される際には、破損部分だけでなく、製品本体全部をお買い上げいただいた販売店にお預けくださいますようお願いいたします。

その際、必ずオーナーズカードのシリアルナンバーをお知らせください。



●修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。
修理対応期間につきましてはシマノカスタマーセンター HP (<https://www.shimanofishingservice.jp/>) をご覧ください。

●ロッドの曲がりについて

現在のロッド生産技術上、グラスロッド、カーボンロッドの違いを問わず各部分の曲がり100%排除することは不可能な状態です。特にカーボンロッドに於いては繊維自体の持つ強い剛性のため、ロッド全体に垂れ下がりが無いので従来のグラスロッドに比べ曲がりや歪みも目立ちます。強度機能上は問題ありませんので、ご安心ください。

●改造後の責任は負いかねます。

改造後の故障については、保証期間中であっても負いかねる場合があります。ご注意ください。

●万一の故障の時

お買い上げの販売店又は、シマノ製品お取扱販売店にお預けください。お近くにシマノ製品お取扱販売店が無い場合や、販売店へ修理品を持ち込む以外の方法を検討される場合には、シマノダイレクト修理サービスをご利用頂けます。詳しくはシマノカスタマーセンター HP (<https://www.shimanofishingservice.jp/>) をご覧ください。その際、保証書付きの商品は保証書とお買い上げ年月日の記載がある購入証明を添えてください。

※この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性があります。



天舞

並継へら竿

このへら竿「天舞」はカーボンロッドと天然の竹を組み合わせた新しい形態のへら竿です。厳選した矢竹を使用し、熟練した竹竿師が入念に火入れしておりますが天然の竹を使用しておりますので従来のカーボンロッドとは性格が全く異なります。以下の項目についてはあらかじめご了承ください。

- 1 調子は同じ長さでも1本1本微妙に異なります。
- 2 自重は1本1本若干異なります。
- 3 竹部の色合いは1本1本異なります。
- 4 竹部の色合いは時間が経つと変化する場合があります。
- 5 一度に一方に大きな負荷を掛けると曲がりぐせがでる（塑性変形を起こす）場合があります。へらを取り込む際には竹竿と同様に竿の向きを変え、竿操作を行い一方だけに力が加からないようにすると曲がりぐせを防ぐ効果があります。
釣行後、復元しない場合はお買い上げ販売店へお預けください。火入れ点検により復元できる場合もあります。
- 6 使い始めてしばらくすると多少パワーが低下する場合があります。その状態がこの竿の本来の性能です。これは天然の竹の特性ですのであらかじめご了承ください。
- 7 一度に過度の負荷を掛けると竿のパワーが低下する場合があります。また、釣り上げた重量が累積されるに従い、竿のパワーが低下する場合があります。これらは天然の竹の特性ですのであらかじめご了承ください。
- 8 穂先、穂持ちを濡れたまま仕舞いますとその湿度で竹材を傷める場合があります。必ず水分を拭き取ってから仕舞ってください。強い雨などで拭き取ることが出来ない場合は竿を仕舞わず束ねた状態で持ち帰ってください。
- 9 竹を組み込んだ節のアフターパーツは、調子、色味等多少異なります。
- 10 竹は気温、湿度の変化にデリケートに反応します。特に高温・多湿や極度な乾燥は大敵です。使用後は直射日光の当たらない冷暗所で保管してください。
- 11 釣行後の保管はまっすぐに立てるか水平面に置くようにしてください。長時間斜めに立てかけると曲がりぐせが発生する場合があります。
- 12 竹を組み込んだ竿であっても感電の危険性は伴います。後述の「安全上のご注意」をお読みの上十分ご注意ください。また本製品の本体には法律に基づき、竿による感電に注意して頂くよう注意喚起シボルシールが貼ってあります。簡単にはがれないように、シールの上にコーティングしてありますので、はがさないようお願いいたします。

この「天舞」は天然の竹を使用しております。それを1本1本手作りで仕上げているので全く同じものは存在しません。すべての製品がそれぞれ独自の表情を持っており、それがこの天舞の特徴でもあります。また、竹はある意味生き物です。いたわりながら使うことによって手になじみ、長持ちします。無理を強いると早く寿命が来ます。竹の持つ特性をご理解の上、大切にお使いいただくことをお願いいたします。

お手入れ

釣行後のお手入れもお忘れなく

●釣行後は、汚れをきれいに落とし水気をふきとり、風通しのよいところで陰干しをしてください。陰干しする場合、竿は穂先から元竿まで一本ずつにして干してください。

タワシ・みがき粉・ベンジン及びシンナー等のご使用は絶対に避けてください。



車のトランクルームなどに長期間放置しないでください。

●高温・密閉状態での長期間放置は、竿の変形など大きなトラブルのもとになります。上記の要領で手入れしたあとは、風通しの良い場所にしてください。



●竿の汚れは、真水又はぬるま湯で洗い落とし、水気は乾いた布でよく拭きとってください。

市販のロッドクリーナーやワックス・洗剤等をご使用になる場合はくれぐれも注意してください。竿によっては塗装や本体を傷つける場合があります。

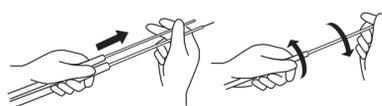
使用上のご注意

竿を伸ばすときの注意

●口栓をはずす時は、真上に引き抜くようにはずしてください。無理にひねったり、こじったりすると玉口部分を傷つけることがあります。



●竿を伸ばす時は、穂先から順に1本ずつ引き出していき、穂先と2番節、そして3番節へと合わせ、最後に元竿まで合わせていきます。各部の合わせは、手で少しヒネリながら固定してください。



釣りをしているときの注意

●魚を掛けてから竿を垂直方向に突き上げるなど、竿先部を急角度で曲げるような操作をすると穂先や穂持ちを折ることがあります。根掛かりなどの場合は無理に竿をあおらず、道糸を引っ張ってはすすようにしてください。



●釣りの最中は、とくに穂先に糸がからんでいないか気をつけてください。また、継ぎ目のゆるみも時々点検しましょう。



竿の仕舞時の注意

●竿を仕舞う時は、まず元竿から順に一本ずつ抜いてください。その時にまっすぐ抜こうとせずに、手で少しひねってゆるめてから抜いてください。



竿が固着した場合

●滑り止めにゴムシートなどを当てて図のように2人で向き合い、継目に近いところをしっかりと握ります。このとき竹部材は絶対に握らず竹部材より継目に近いカーボン部材を握るようにしてください。次にお互いに逆方向にヒネリながら引き合せて継目を緩めてください。



●水気によって固着したときは、ドライヤーなどで乾かすと抜きやすくなります。



ドライヤーを竿に近づけすぎないようにしてください。

竿の固着は、水の付着などによって多少は起きる場合があります。上記の方法ではずれない場合は無理にはずそうとせず、お買い上げの販売店へお預けください。

竿袋のご使用について

竿袋には口栓を収納しておくポケットが付いています。口栓を紛失しないようにこのポケットに入れておくことが便利です。なお、このポケットは脱落防止のための密封機構は付いていませんので口栓を収納する際はしっかりと奥まで入れてください。



●口栓の収納方法
口栓を収納する時は、ポケットの二重に重なった部分を広げて、図の矢印のように奥までしっかりと入れてください。



●ポケットに口栓を収納した状態の断面

修理を依頼されるときは

●お買い上げの販売店まで製品をお預けください。並継ぎへら竿は精密な合わせになっているため、破損部分だけでなく、製品本体全部をお預けください。

